

ISSN 1882-5230

むかわ町  
穂別博物館館報

第32号

平成26（2014）年度版

むかわ町穂別博物館

## 目 次

---

沿革	----- (p. 1)
施設の概要	----- (p. 4)
施設平面図	----- (p. 4)
展示活動	----- (p. 5)
広報活動	----- (p. 6)
教育普及活動	----- (p. 11)
収蔵資料概要	----- (p. 15)
資料収集保存活動	----- (p. 15)
調査研究活動ほか	----- (p. 19)
運営	----- (p. 21)

---

穂別博物館は、昭和 57(1982) 年に開設され現在に至っている。

昭和 50(1975) 年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された。当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更したのである。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

### I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

#### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈昭和 55(1980) 年 11 月 26 日〉

#### 〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

〈平成 2(1990) 年 6 月 27 日〉

#### 〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

## II 沿革

- \* 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名義として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- \* 名称等は、当時のまま表記してある。

### 昭和 50(1975) 年

- 6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

### 昭和 51(1976) 年

- 9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

### 昭和 52(1977) 年

- 2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海生爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7月 5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

### 昭和 53(1978) 年

- 5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
- 11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

### 昭和 54(1979) 年

- 5月：長頸竜化石骨が穂別町指定文化財第2号に指定される。

### 昭和 55(1980) 年

- 10月 16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

### 昭和 56(1981) 年

- 3月 13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

### 昭和 56(1981) 年

- 7月-12月：博物館建設工事
- 9月 1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

### 昭和 57(1982) 年

- 1月 16日：長頸竜復元作業開始
- 3月-6月：博物館展示工事
- 7月 20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8月 26日：「博物館協議会」発足
- 11月 1日：北海道博物館協会加入
- 12月 19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12月 19日-1月 23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

### 昭和 58(1983) 年

- 3月 2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

### 昭和 58(1983) 年

- 3月 28日：「博物館協力会」設立
- 4月 1日：日本博物館協会加入
- 4月 28日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7月 22日-8月 7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
- 8月 1日：全国科学博物館協議会加入
- 11月 1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

### 昭和 59(1984) 年

- 2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3月 27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6月 14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11月 1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
- 12月 1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

### 昭和 60(1985) 年

- 3月 30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5月 1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）
- 11月 1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

### 昭和 61(1986) 年

- 10月 21日-11月 9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

### 昭和 62(1987) 年

- 1月 1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7月 28日-8月 9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

### 昭和 63(1988) 年

- 7月 17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月 23日-9月 4日：特別展（第5回）「穂別のカメ化石」
- 10月 6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

### 平成元(1989) 年

- 6月 30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月 18日-8月 20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
- 9月 29日-10月 6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

### 平成 2(1990) 年

- 7月 23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月 18日-9月 16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月 3日-5日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

### 平成 3(1991) 年

- 12月 31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

### 平成 4(1992) 年

- 4月 1日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4月 28日、29日：入館者10万人突破記念事業

### 平成 4(1992) 年

- 2月 1日：展示更新工事開始
- 4月 23日-25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4月 29日：展示更新完了、一般公開再開

### 平成 6(1994) 年

- 4月 1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月 1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

### 平成 7(1995) 年

- 7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
- 7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
- 10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
- 7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
- 4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
- 6月11日:星功(第十代)館長就任
- 8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
- 1月1日:山田正(第十一代)館長就任
- 5月29日:入館者30万人突破記念事業
- 8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
- 8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
- 8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
- 4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
- 7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
- 7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
- 1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
- 7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
- 7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
- 7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
- 3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
- 7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
- 10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
- 4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
- 7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
- 7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
- 11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
- 7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
- 2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
- 7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
- 3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
- 4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
- 7月23日~10月30日:特別展(第33回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
- 12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成24(2012)年
- 4月-平成25(2013)年3月:穂別産恐竜化石発掘調査 書類申請準備
- 12月25日-平成25(2013)年3月6日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
- 平成25(2013)年
- 4月1日:阿部勉(第十六代)館長就任
- 4月1日:西村智弘学芸員(嘱託)就任(平成21年~平成24年度 普及員)
- 9月2日-10月5日:穂別産恐竜化石発掘調査(第一次発掘)
- 平成26(2014)年
- 9月4日-9月30日:穂別産恐竜化石発掘調査(第二次発掘)

## 施設の概要

### 【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

### 【町立博物館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収蔵庫	86.56m <sup>2</sup>
事務室	40.50m <sup>2</sup>
研究室	31.50m <sup>2</sup>
整理室	29.92m <sup>2</sup>
学習展示室	184.75m <sup>2</sup>
書庫	35.05m <sup>2</sup>
共用部門	219.76m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

#### 〔総事業費〕

362,165,000 円

#### 〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

### 【かせき学習館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事務室	56.70m <sup>2</sup>
作業室	56.70m <sup>2</sup>
書庫	14.04m <sup>2</sup>
レプリカ室	12.15m <sup>2</sup>
処理室	12.15m <sup>2</sup>
展示物保管庫	162.00m <sup>2</sup>
共用部門	12.15m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

平成 7 年度

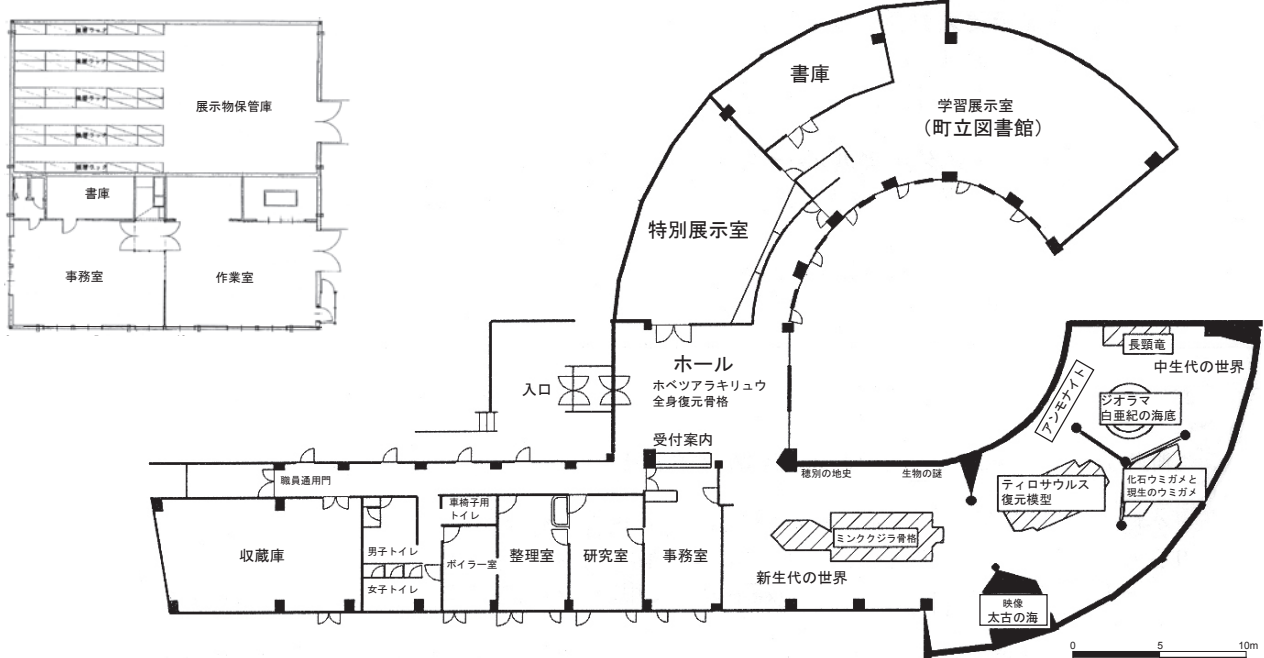
#### 〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

## 施設平面図

### 【かせき学習館】

### 【町立博物館】



## 展示活動

### I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

#### 【常設展示の変更】

- 4月8日 穂別産恐竜化石（尾椎）を追加、生痕化石（HMG-1110）を撤去  
 5月17日 イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* (HMG-1639) を追加  
 5月20日 アンモナイト *Damesites ainuanus* (HMG-1623)、*Pachydiscus* sp. (HMG-1640)、*Diplomoceras* sp. (HMG-1641) を追加  
 2月17日 恐竜化石尾椎について説明パネル、説明資料の追加  
 2月21日 アンモナイト *Anagaudryceras compressum* (HMG-0136、1594、1595、1596、1597、1626) の追加  
 3月4日 大型アンモナイト（入口ホール）の配置変更

#### 【常設展示資料】

種別		分類		点数		
化石	中生代	脊椎動物	魚類	10	248	
			爬虫類（恐竜1、長頸竜13 <sup>**</sup> 、モササウルス13 <sup>**</sup> 、カメ7、他2）	36		46
		軟体動物	頭足類115、腹足類9、斧足類46、掘足類1	171		
		その他動物	節足動物7、棘皮動物6、刺胞動物3	16		
		植物		14		
	生痕		1			
	新生代	脊椎動物	魚類	4		92
			哺乳類（クジラ9、束柱類2 <sup>**</sup> 、他9 <sup>**</sup> ）	20		
		軟体動物	腹足類25、斧足類27、掘足類4	56		
		その他動物	節足動物3、棘皮動物1	4		
植物			8			
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	19		
		哺乳類（クジラ5、他3）	8		11	
	軟体動物	頭足類2	2			
	その他動物	節足動物1、棘皮動物2、刺胞動物2	5			
	植物		1			
岩石・鉱物				29		
復元模型	脊椎動物	爬虫類3（長頸竜1、モササウルス1、ウミガメ1）、哺乳類1		4		
その他	その他模型3、映像4			7		
合計					399	

(2015年3月31日現在) ※レプリカ含む

### II 特別展示等

#### 【ミニ展示】

- (1) 「発見!! 残りを発掘!!! 穂別産ハドロサウルス科恐竜化石」：平成25(2013)年12月19日 - 平成26(2014)年6月13日 恐竜化石第一次発掘（平成25年度）の紹介  
 (2) 「穂別産白亜紀末の新種アンモナイト アナゴードリセラス・コンプレッサム展」：平成26(2014)年7月19日 - 11月30日 新種として記載された *Anagaudryceras compressum* の紹介。

#### 【特別展】

- (1) 「穂別恐竜発掘展」：平成26(2014)年7月19日 - 11月30日  
 第一次発掘（平成25年度）の成果、クリーニング中・クリーニング済標本の展示、第二次発掘の様子、共産化石や同時代の植物化石等の紹介。

### Ⅲ 年間入館者数

(単位：人)

分類		平成 22 年度 (2010)	平成 23 年度 (2011)	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)
個人	一般	6,295	5,853	5,491	6,483	7,278
	学生	2,727	2,415	2,050	2,527	2,611
団体	一般	450	669	808	525	684
	学生	715	1,045	767	559	378
計		10,187	9,982	9,116	10,307	10,951
幼児		1,537	1,508	1,375	1,583	1,690
合計		11,724	11,490	10,491	11,890	12,641

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。

団体：10名以上、一般：高校生より上、学生：小学生～高校生、幼児：小学生未満（無料）

## 広報活動

### I 博物館広報活動

#### 【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A4版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

353号<平成26(2014)年4月>：ほべつ恐竜デー2014の紹介 / 化石採集会参加者募集

354号<平成26(2014)年5月>：最近の主な寄贈資料の紹介 / 2013年の寄贈資料

355号<平成26(2014)年6月>：最近の主な採集（収集）資料の紹介

356号<平成26(2014)年7月>：穂別産白亜紀末の新種アンモナイト アナゴードリセラス・コンプレッサムを発表 / 特別展示「穂別恐竜発掘展」の紹介

357号<平成26(2014)年8月>：特別展示「穂別恐竜発掘展」の紹介

358号<平成26(2014)年9月>：博物館収蔵資料の紹介⑩ 絶滅イルカ ケントリオドン・ホベツ / 普及講演会「穂別恐竜 発掘最前線！！」の紹介・第二次穂別恐竜発掘 準備中

359号<平成26(2014)年10月>：博物館収蔵資料の紹介⑫ デスモチルス穂別標本 / デスモチルスについて

360号<平成26(2014)年11月>：2014年第二次穂別恐竜発掘報告①

361号<平成26(2014)年12月>：2014年第二次穂別恐竜発掘報告②

362号<平成27(2015)年1月>：2015年ホベツアラクリュウ発見40周年-ホッピーがもたらしたもの①-

363号<平成27(2015)年2月>：2014年の調査研究

などでの利用（恐竜発掘を除く） / 博物館収蔵資料の紹介⑬ 巨大アンモナイト パキデスモセラス・パキディスコイデ

364号<平成27(2015)年3月>：穂別博物館首長竜資料を用いた研究が日本古生物学会で優秀ポスター賞を受賞 / 2014年度の学会発表

#### 【博物館ホームページ】

内容を一新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

#### 【むかわ町穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm#moduleid1550>（むかわ町ポータルサイト POMU 内）

#### 【広報むかわ（むかわ町広報誌）】

(1)97号～106号まで10回にわたり、裏表紙に恐竜発掘記事「むかわ町穂別での恐竜発掘」を連載（担当：西村学芸員）。

97号<平成26(2014)年4月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘① - 恐竜の発見にいたる背景 -」

98号<平成26(2014)年5月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘② - 恐竜の発見にいたる背景 -」

99号<平成26(2014)年6月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘③ - 恐竜の発見 -」

100号<平成26(2014)年7月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘④ - 恐竜の発見② -」

101号<平成26(2014)年8月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘⑤ - 恐竜の発掘 -」

102号<平成26(2014)年9月>：「むかわ町穂別での恐竜発掘⑥ - 恐竜の発掘（2013年の第一次発掘）② -」



103号<平成26(2014)年10月>:「相互協力協定書に調印」/「穂別恐竜化石(第二次発掘)の開始」/「むかわ町穂別での恐竜発掘⑦ - 恐竜の発掘(2013年の第一次発掘)③-」

104号<平成26(2014)年11月>:「むかわ町穂別産恐竜の頭骨の一部を発見!」/「穂別博物館普及講演会」/「むかわ町穂別での恐竜発掘⑧ - 恐竜の産状-」

105号<平成26(2014)年12月>:「むかわ町穂別での恐竜発掘⑨ -2014年の第二次発掘①-」

106号<平成27(2015)年1月>:(小林快次准教授特集記事)「新種なら世界的な大発見」/「むかわ町穂別での恐竜発掘⑩ -2014年の第二次発掘②-」

## (2) その他関連記事

103号<平成26(2014)年10月>:「相互協力協定書に調印」/「穂別恐竜化石(第二次発掘)の開始」

104号<平成26(2014)年11月>:「むかわ町穂別産恐竜の頭骨の一部を発見!」/「穂別博物館普及講演会」

106号<平成27(2015)年1月>:(小林快次准教授特集記事)「新種なら世界的な大発見」

107号<平成27(2015)年2月>:恐竜のまちづくり最前線(パート1) 博物館のうごき

108号<平成27(2015)年3月>:恐竜のまちづくり最前線(パート2) 魅力あるまちづくりセミナー「恐竜化石を活かしたまちづくり」

## II 報道関係

### 【穂別産恐竜化石】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された

(1) 平成26(2014)年9月4日 報道会見(第1回)

会場:発掘現場

内容:第二次発掘調査の開始と本調査の目標についての説明

説明者:

北海道大学総合博物館:小林快次准教授

むかわ町:竹中喜之町長,阿部博之教育長,櫻井和彦学芸員

参加者(報道機関10社・13名、他数名)

新聞社(5社・5名):北海道新聞社,苫小牧民報社,室蘭民報社,朝日新聞社,読売新聞社

テレビ局(3社・5名):NHK日本放送協会札幌放送局3名・NHK苫小牧報道室・HBC北海道放送

民間(1社・2名):共同通信社2

その他報道機関(1社・1名):むかわ総合サービス

その他参加者:役場関係者数名

### ①新聞記事

平成26(2014)年9月

5日:北海道新聞(朝/第27面:苫小牧版)、苫小牧民報(第21面)、朝日新聞(朝/第28面:北海道版)

6日:読売新聞(朝/第31面:道南版)

### ②テレビ報道

平成26(2014)年9月

4日:HBC「今日ドキッ!」(17:45~1分20秒)、NHK「ほっとニュース北海道」[胆振・日高](18:50~1分20秒)

(2) 平成26(2014)年9月19日 報道会見(第2回)

会場:発掘現場

内容:発掘調査の進行状況と現時点での成果の説明  
説明者:

北海道大学総合博物館:小林快次准教授

むかわ町穂別博物館:櫻井和彦学芸員

参加者(報道機関8社・9名、その他数名)

新聞社(6社・7名):北海道新聞社2(記者1・カメラ1),苫小牧民報社1,室蘭民報社1,朝日新聞社1,毎日新聞社1,読売新聞社1

テレビ局(2社・2名):NHK苫小牧報道室1, HBC1

その他取材(2社・2名):小学館(図鑑NEO出版担当)1, Newton編集部1

その他:役場職員等数名

### ①新聞記事

平成26(2014)年9月

20日:北海道新聞(朝/第30面:第4社会面)、苫小牧民報(第1面)、室蘭民報(第1面・第12面)、朝日新聞(朝/第31面:北海道版)、毎日新聞(朝/第30面:社会面)

### ②テレビ報道

平成26(2014)年9月

19日:HBC「今日ドキッ!」(17:48~30秒)

(3) 平成26(2014)年10月3日 報道会見(第3回)

会場:穂別町民センター ツツジホール

内容:第二次発掘の成果報告

説明者:

北海道大学総合博物館:小林快次准教授

むかわ町:阿部博之教育長,金本和弘教育振興室長,阿部勉館長,櫻井和彦学芸員,西村智弘学芸員

参加者(報道機関11社・14名)

新聞社(6社・6名):北海道新聞社1,苫小牧民報社1,室蘭民報社1,朝日新聞社1,毎日新聞社1,読売新聞社1

テレビ局 (2社・5名) : NHK 札幌放送局 3・室蘭放送局 2、HBC1  
民間 (2社・2名) : 共同通信社 1、時事通信社 1  
その他 (1社・1名) : むかわ総合サービス (むかわ町ポータルサイト POMU 担当) 1

#### ①新聞記事

平成 26(2014) 年 10 月

4 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 33 面 : 第 3 社会面)、苫小牧民報 (第 1 面)、室蘭民報 (第 1 面・第 14 面)、読売新聞 (朝 / 第 35 面 : 北海道版)、朝日新聞 (朝 / 第 29 面 : 北海道版)、毎日新聞 (朝 / 第 23 面 : 北海道版)

#### ②テレビ報道

平成 26(2014) 年 10 月

3 日 : NHK「おはよう日本」(5:38 ~ 1 分 50 秒)、NHK「おはよう北海道」(7:46 ~ 1 分 50 秒)、NHK「ほっとニュース北海道」(18:33 ~ 1 分間)、HBC「今日ドキッ！」(18:48 ~ 1 分 30 秒)

(4) 平成 26(2014) 年 10 月 10 日 報道会見 (第 4 回)

会場 : 穂別町民センター ツツジホール

内容 : 上顎骨 (右) の確認

説明者 :

北海道大学総合博物館 : 小林快次准教授

むかわ町 : 竹中喜之町長、阿部博之教育長、山岡康伸支所長、阿部勉館長、櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員

参加者 (報道機関 10 社・14 名、その他 4 名)

新聞社 (6 社・8 名) : 北海道新聞社 3 (記者 2・カメラ 1)、苫小牧民報社 1、室蘭民報社 1、毎日新聞社 1、朝日新聞社 1、読売新聞社 1

テレビ局 (2 社・4 名) : NHK 札幌放送局 2、NHK 苫小牧報道室、HBC1

民間 (2 社・2 名) : 共同通信社 1、時事通信社 1

その他 4 : 役場広報担当者 1、むかわ総合サービス (むかわ町ポータルサイト POMU 担当) 2、藤田良治 (北海道大学総合博物館助教)

#### ①新聞記事

平成 26(2014) 年 10 月

10 日 : 北海道新聞 (夕 / 第 1 面)、苫小牧民報 (第 1 面)、室蘭民報 (第 1 面)「穂別恐竜 頭骨を確認」

11 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 33 面 : 苫小牧圏・第 34 面 : 第 4 社会面)、室蘭民報 (第 1 面)、読売新聞 (朝 / 第 34 面 : 北海道版)、朝日新聞 (朝 / 第 31 面 : 北海道版)、毎日新聞 (朝 / 第 27 面 : 社会面)

#### ②テレビ報道

平成 26(2014) 年 10 月

10 日 : NHK「おはよう北海道」(7:50 ~ 4 分 45 秒)、

HBC「今日ドキッ！」(17:17 ~ 1 分 40 秒)、NHK「ほっとニュース北海道」(18:17 ~ 4 分 20 秒)

(5) 平成 26(2014) 年 9 月 23 日 普及講演会関連記事  
平成 26(2014) 年 9 月

24 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 27 面 : 苫小牧・日高版)

25 日 : 朝日新聞 (朝 / 第 29 面 : 北海道版)、苫小牧民報 (第 2 面)

26 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 33 面 : 苫小牧版)、読売新聞 (朝 / 第 33 面 : 道南版)

(6) その他恐竜化石関連記事・ニュース

#### ①新聞記事

平成 26(2014) 年 4 月

2 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 32 面 : 第 4 社会面)

3 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 28 面 : 第 4 社会面)

22 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 23 面 : 苫小牧・日高版)、苫小牧民報 (第 2 面)

30 日 : 北海道新聞 (朝 : 第 23 面 : 苫小牧・日高版)  
平成 26(2014) 年 5 月

1 日 : 苫小牧民報 (第 2 面)

5 日 : 朝日新聞 (朝 / 第 22 面 : 北海道版)

平成 26(2014) 年 7 月

21 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 25 面 : 第 3 社会面)

23 日 : 苫小牧民報 (第 2 面)

平成 26(2014) 年 9 月

17 日 : 苫小牧民報 (第 2 面)

平成 26(2014) 年 11 月

10 日 : 北海道新聞 (夕 / 第 8 面 : 科学面) (執筆 : 小林快次准教授)

29 日 : 苫小牧民報 (第 2 面)

平成 26(2014) 年 12 月

14 日 : 北海道新聞 日曜ナビ ほっかいどう知究人 24

23 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 29 面 : 苫小牧圏)、苫小牧民報 (第 2 面)

30 日 : 苫小牧民報 (第 2 面)

平成 27(2015) 年 1 月

1 日 : 北海道新聞 (第 5 部・第 8 面)、苫小牧民報 (総合第 2 部 第 1 面)

平成 27(2015) 年 2 月

17 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 23 面 : 苫小牧・日高)

20 日 : 北海道新聞 (朝 / 第 27 面 : 苫小牧・日高)

#### ②関連ニュース

平成 26(2014) 年 4 月

29 日 : NHK 総合「ニュース北海道 645」[胆振・日高](18:50 ~ 1 分 20 秒)「むかわ町 大型草食恐竜の化石 初の一般公開」

平成 26(2014) 年 7 月

26日：NHK 総合「おはよう北海道 土曜プラス ぶらりみてある記」[北海道] (7:45～9分間)「太古のロマン〇〇がいっぱい!? ～むかわ町穂別～」

30日：NHK 総合「つながる@きたカフェ I LOVE JIMOTO」[北海道] (11:30～9分間)

### ③特集番組

平成 26(2014) 年 10 月

10日：NHK 総合 北海道クローズアップ [北海道] (19:32-19:57)「恐竜大発掘 ～むかわ町穂別 2年半にわたる密着～」(再放送 10月12日 8:00-8:25)

平成 26(2014) 年 11 月

23日 NHK Eテレ サイエンス ZERO [全国] (23:30-0:00)「恐竜大発掘 出るか!? 日本初の完全骨格」(再放送 11月29日 12:30-13:00)

### 【北海道大学総合博物館との相互協力協定】

恐竜化石の発掘を継続し、研究を進め、活用を図るにあたり、これまで以上の連携の強化を目的とした相互協力協定の締結を行った。

(1) 平成 26(2014) 年 9 月 1 日 報道会見

会場：北海道大学総合博物館

内容：相互協力協定調印式

出席者：

むかわ町：竹中喜之町長、金本和弘教育振興室長、阿部勉館長、櫻井和彦学芸員

北海道大学総合博物館：津曲敏郎館長、小林快次准教授、浪塚良平課長補佐

### ①新聞記事

平成 26(2014) 年 8 月

23日：北海道新聞 (朝／第 28 面：第 4 社会面)「恐竜化石研究で連携 むかわ町と北大、来月協定」

25日：苫小牧民報 (第 2 面)「希少な恐竜化石 むかわ町と北大総合博物館が協定締結へ」

平成 26(2014) 年 9 月

1日：苫小牧民報 (第 1 面)「北大博物館とむかわ町が協定 恐竜化石で地域振興」

2日：室蘭民報 (第 1 面)「恐竜化石調査・研究 北大博物館とむかわ町協定」・第 12 面「東部発掘に高まる期待 町と北大総合博物館、連携強化誓う」

2日：北海道新聞 (朝／第 25 面：苫小牧・日高版)「むかわ町と北大博物館 恐竜化石研究で調印」

2日：毎日新聞 (朝／第 22 面：北海道版)「『恐竜化石の町』づくり始動 むかわと北大が協定締結」

### 【アナゴードリセラス・コンプレッサム】

(1) 平成 26(2014) 年 6 月 20 日 報道会見

#### ①新聞記事

平成 26(2014) 年 7 月

1日：北海道新聞 (朝／第 30 面：第 4 社会面)「アンモナイトは新種」

1日：苫小牧民報 (第 2 面)「アンモナイト 穂別に新種の化石」

1日：室蘭民報 (第 16 面)「穂別で発見のアンモナイト 新種と確認」

1日：共同通信社配信「北海道で新種アンモナイトを確認 むかわ町で見つかる」(日本経済新聞等で掲載)

1日：読売新聞 (朝／第 35 面：北海道版)「むかわの化石 新種」

1日：毎日新聞 (朝／第 27 面：北海道胆振版)「新種アンモナイト確認」

1日：マイナビニュース (web)「北海道むかわ町穂別地域にて新種のアンモナイト発見」

2日：サイエンスポータル (web)「北海道で新種アンモナイトを確認」

2日以降：共同通信社「新種のアンモナイトを発表した北海道むかわ町立穂別博物館学芸員」(新潟日報等計 7 社で掲載)

3日：朝日新聞 (朝／第 28 面：北海道版)「新種アンモナイト、3 例目」

#### ②テレビニュース

平成 26(2014) 年 7 月

1日：NHK 総合「つながる@きたカフェ I LOVE JIMOTO」[北海道] (1 分間弱)

1日：NHK ほっとニュース北海道 胆振・日高コーナー (1 分間弱)

### 【その他報道等】

#### <新聞記事>

平成 26 (2014) 年 5 月 17 日 苫小牧民報 (第 8 面：苫小牧・東胆振) まちの文化財「国登録有形文化財 旧中村平八郎邸 (むかわ町穂別)」

平成 26 (2014) 年 10 月 2 日 苫小牧民報 (第 2 面)「国内外の研究者グループ クビナガリュウの進化を探る」：東京学芸大学 佐藤たまき准教授、大阪市立自然史博物館 林昭次学芸員、ドイツ・ボン大学 中島保寿博士研究員の紹介

#### <ラジオ放送>

平成 26 (2014) 年 7 月 30 日 NHK ラジオ第 1 「わがまちのミュージアム」(「おはようもぎたてラジオ

才便」内) (7:50 ~ 5 分間程度)

### Ⅲ 出版物等

#### <恐竜化石>

- 国立科学博物館 広報誌「milsil」No.3 2014 (Vol.7) (2014年5月発行) News & Topics「北海道でハドロサウルスの化石、全身骨格の可能性も」: 恐竜化石発見の紹介
- 小学館 図鑑NEO〔新版〕恐竜 (2014年6月23日発行 第1刷)「日本で見つかった恐竜化石」: 恐竜化石発見の紹介
- 朝日新聞出版 週刊地球46億年の旅 21号 (2014年7月6日発行)「もっと知りたい! 地球史Q&A」: 恐竜発掘現場の紹介
- ポプラ社 ポプラディア大図鑑WANDA 大昔の生きもの (2014年7月発行 第1刷)「化石の見つかる場所」: 恐竜化石発掘現場の紹介
- 日本古生物学会 和文誌「化石」第96号 (2014年9月発行): 発掘現場写真 (表紙)、恐竜化石写真 (裏表紙)
- 朝日新聞出版 週刊地球46億年の旅 31号 (2014年9月21日発行)「地球博物誌 恐竜化石の聖地」: 恐竜発掘現場の紹介

株式会社ニュートンプレス Newton 2015年1月号 (2014年11月26日発行)「恐竜の姿がよみがえるまで『穂別恐竜』の発掘と『丹波竜』の復元を追う」: 恐竜化石発掘の紹介

誠文堂新光社 子供の科学 2015年3月号 (2015年2月10日発行)「化石発掘と復元 北海道に眠るハドロサウルス類 発見・発掘物語」

日本古生物学会 和文誌「化石」第97号 (2015年3月発行) 友の会トピック「日本から恐竜の全身骨格発見!?!」p.52-54 (執筆: 北海道大学総合博物館 小林快次准教授): 穂別産恐竜化石の発見と発掘の紹介

#### <その他>

- 朝日新聞出版 週刊地球46億年の旅 26号 (2014年8月10日発行)「爬虫類の生存戦略」: メソダーモケリス復元骨格・アノマロケリス実物化石の紹介
- ベネッセコーポレーション こどもちゃれんじステップ ふしぎはっけんえほん9月号 (2014年9月1日発行): ティロサウルス復元模型の紹介
- 朝日新聞出版 週刊地球46億年の旅 28号 (2014年8月31日発行)「世界が注目する日本の海生爬虫類研究」(執筆: 東京学芸大学 佐藤たまき准教授): 穂別博物館収蔵資料 (モササウルス、メソダーモケリス) の紹介

#### 【広告等掲載】

【北海道じゃらん】(リクルート北海道じゃらん)  
平成24(2012)年: 5月号、8月号



相互協力協定調印式 (2014.9.1)



恐竜化石第二次発掘調査 (2014.9.16)

## 教育普及活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

### I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

#### 【ミニ展示】

- (1) 「発見!! 残りを発掘!!! 穂別産ハドロサウルス科恐竜化石」

会期：平成25(2013)年12月19日 - 平成26(2014)年6月13日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：恐竜化石第一次発掘（平成25年度）の紹介。

- (2) 「穂別産白亜紀末の新種アンモナイト アナゴードリセラス・コンプレッサム展」

会期：平成26(2014)年7月1日 - 11月30日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：新種として記載された *Anagaudryceras compressum* の紹介。

#### 【特別展】

- (1) 「穂別恐竜発掘展」

会期：平成26(2014)年7月19日 - 11月30日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：第一次発掘（平成25年度）の成果、クリーニング中・クリーニング済標本の展示、第二次発掘の様子、共産化石や同時代の植物化石等の紹介。

#### 【町民文化祭】

- (1) 第58回むかわ町穂別地区町民文化祭へ出展

会期：平成26(2014)年10月17日～19日

会場：穂別町民センター

内容：第二次発掘のメンバーと発掘日誌のスライドショー

#### 【普及講演会】

- (1) 「穂別恐竜 発掘最前線!!」

日時：平成26(2014)年9月23日

講師・題名

小林准教授「北米から穂別へ：ハドロサウルス科の長い旅」

櫻井学芸員「穂別恐竜の発見と発掘の経緯」

西村学芸員「穂別恐竜が産した地層と産状について」

会場：穂別町民センター 多目的ホール

参加者：120人

#### 【化石採集会】

学芸員による展示案内の後、白亜紀の地層が露出している場所で化石を採集する。第1回・第4回は安住幌去沢、第2回は稲里シュッタノ沢、第3回は稲里ソソシ沢で実施した。各回定員20名。事前申込・抽選で選出した。

観覧料（「運営」を参照）と体験参加料（一人100円）を徴収。終了後に希望者を対象に自分で見つけた化石のクリーニング体験を実施した。（実施協力：穂別博物館協力会）

参加人数計：31人

第1回く平成26(2014)年5月24日く(小4・大7)

第2回く平成26(2014)年5月31日く(小3・大2)

第3回く平成26(2014)年6月7日く(小5・大10)

第4回く平成26(2014)年6月14日く応募なし中止

#### 【ほべつ恐竜デー】

化石体験コーナーとして「ほべつ恐竜デー」を実施した。

<実施内容>

①恐竜が産した露頭(崖)の岩石プレゼント：約7,200万年前の岩石を、各日先着200名に配布。博物館受付窓口。

②恐竜クリーニング見学：恐竜化石クリーニング作業の自由見学。かせき学習館作業場。10:00-12:00、13:00-15:00

③立体図鑑づくり：穂別博物館展示資料の石こう模型づくり。オリジナル解説シート付き。有料（1回100円）。かせき学習館収蔵庫。10:00-12:00、13:00-15:00

<開催日・体験人数> (②は人数未確認)

1. 大型連休

(1) 平成26(2014)年4月29日 ①85個、③26人

(2) 平成26(2014)年5月3日 ①200個、③85人

(3) 平成26(2014)年5月4日 ①200個、③92人

(4) 平成26(2014)年5月5日 ①200個、③66人

(5) 平成26(2014)年5月6日 ①162個、③17人

計 ①岩石プレゼント：847個

③立体図鑑づくり：286人

2. 夏休み

(1) 平成26(2014)年7月20日 ①91個、③25人

(2) 平成26(2014)年7月21日 ①86個、③18人

(3) 平成26(2014)年7月27日 ①79個、③33人

(4) 平成26(2014)年8月3日 ①74個、③6人

(5) 平成26(2014)年8月10日 ①169個、③72人

- 計 ①岩石プレゼント：499 個  
③立体図鑑づくり：154 人

### 【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

- ①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。  
②ミニジオラマ（クビナガリュウの海）：着色・切り抜いて、自分で作成するジオラマの型紙。穂別の化石が題材。

## II 運営協力等

### 【講師派遣】

- (1) 地学団体研究会北海道支部総会 特別講演

日程：平成26(2014)年4月20日

主催：地学団体研究会 北海道支部

会場：札幌市生涯学習センター「ちえりあ」

講師：西村智弘学芸員

題名：「穂別の化石と恐竜の発掘」

参加者：23人

- (2) 平成26年度胆振7町民生委員・児童委員研修交流会

日程：平成26(2014)年7月10日

主管：むかわ町民生児童委員協議会

会場：むかわ町四季の館 たんぼぼホール

講師：櫻井和彦学芸員

題名：「むかわ町穂別で初めての恐竜化石を発掘！  
～7,200万年前の生き物たち～」

参加者：160人

- (3) 平成26年度北海道地方下水道協会道南地区支部  
主管者会議

日程：平成26(2014)年10月23日

主催：北海道地方下水道協会道南地区支部

会場：むかわ町四季の館 会議室A

講師：櫻井和彦学芸員

題名：「穂別の化石－穂別の恐竜と恐竜時代の生物－」

参加者：12人

- (4) 平成26年度中高リーダー交流事業

日程：平成27(2015)年1月31日

主催：むかわ町教育委員会・むかわ町青少年健全育成委員会

会場：北海道鶴川高等学校 多目的室

講師：櫻井和彦学芸員

題名：「むかわ町で発掘された恐竜化石」

参加者：24人

### 【学会からの依頼対応】

- (1) 日本古生物学会

①アンモナイト アナゴードリセラス記載論文(英文)  
の和文解説作成

西村智弘, 2015. 北海道の白亜系マーストリヒチアン階下部産のアンゴードリセラス(アンモナイト亜目, ゴードリセラス科)の一新種. 化石, 97号, p. 48

## III 団体等の利用

館として対応したものは<>内に内容を示した

### III-1 町内団体等の利用

#### 【町内学校・教育関係団体】

平成26(2014)年5月

29日 むかわ町教育研究会(社会)<博物館・中村記念館見学>(大3)

平成26(2014)年6月

10-12日 穂別高校インターンシップ(2年生)<職場体験>(小2)

平成26(2014)年9月

9日 むかわ町立宮戸小学校<恐竜発掘現場見学>(小5・大2)

25日 むかわ町立穂別小学校4年<恐竜発掘現場見学>(小12・大2)

平成26(2014)年10月

7日 むかわ町立穂別小学校4年<展示見学>(小12・大2)

16日 むかわ町立仁和小学校5・6年(小6・大1)

22日 北海道穂別高等学校1年<展示見学・化石採集>(小18・大2)

29日 むかわ町立穂別小学校4年<化石クリーニング・レプリカ作成体験>(小12・大2)

31日 通学合宿(町内小学校6年生)<展示見学>(小18・大6)

平成26(2014)年11月

27日 むかわ町立穂別小学校3年(小20・大1)

28日 むかわ町立穂別小学校2年(小18・大3)

#### 【町内各種団体】

平成26(2014)年5月

23日 むかわ町役場初任者研修<展示見学>(大5)

平成 26(2014) 年 7 月  
27 日 むかわ町文京大成町内会 (小 3・大 16)

平成 26(2014) 年 8 月  
11 日 決算審査監査委員視察 (大 4)  
23 日 愛誠会 (大 6)

平成 26(2014) 年 11 月  
11 日 たんぼぼ保育所 (幼 29・大 3)

平成 27(2015) 年 3 月  
13 日 外国人技能実習生 (JA とまこまい広域) (大 9) < 展示見学 >

### Ⅲ - 2 町外団体の利用

#### 【町外学校・教育関係団体】

平成 26(2014) 年 5 月  
17 日 恵庭市教育委員会 (小 20・大 8)

平成 26(2014) 年 6 月  
11 日 北海道南幌高等学校 (南幌町)

平成 26(2014) 年 7 月  
9 日 日高町立日高小学校 (小 7・大 3)  
11 日 苫小牧緑ヶ丘小学校 5 年 (むかわ町交流人口推進穂別協議会) (小 24・大 2) < 展示見学 >  
29 日 千歳向陽台小学校児童クラブ (小 23・大 4)

平成 26(2014) 年 8 月  
6 日 千歳市末広小学校児童クラブ (小 29・大 4)  
29 日 国学院大学 (大 30)

平成 26(2014) 年 10 月  
1 日 富川ひばり幼稚園 (幼 38・大 3)  
2 日 富川ひばり幼稚園 (幼 48・大 3)  
3 日 富川ひばり幼稚園 (幼 37・大 4)  
11 日 NPO 法人 NATURAS (小 13・大 3)

#### 【町外各種団体】

平成 26(2014) 年 5 月  
17 日 社会福祉法人「緑星の里」青雲 (苫小牧市) (大 25)  
17 日 東海大学職員 (大 3)  
22 日 タイ国視察団 (大 39)  
28 日 静内第 2 静老会 (新ひだか町) (大 17)

平成 26(2014) 年 6 月  
12 日 勤医協苫小牧友の会 (大 37)  
25 日 北広島市町を好きになる市民大学 OB 会 (大 21)  
27 日 幕別町森林組合 (大 21)

平成 26(2014) 年 7 月  
15 日 NHK 室蘭放送局 (大 2)  
23 日 札幌インターナショナルスクール (小 31・

大 6)  
24 日 近畿日本ツーリスト (小 8・大 13)  
26 日 近畿日本ツーリスト (小 3・大 8)  
27 日 十勝自然史研究会 (大 26)  
27 日 札幌西区子ども会 (小 49・大 9)  
27 日 鹿追町文化連盟 (大 15)  
28 日 近畿日本ツーリスト (小 4・大 10)

平成 26(2014) 年 8 月  
4 日 砺波市市議会総務文教常任委員会 (大 10) < 展示見学 >

4 日 近畿日本ツーリスト (小 5・大 7)  
5 日 近畿日本ツーリスト (小 5・大 6)  
5 日 ふくしまキッズ (小 40・大 12)  
6 日 近畿日本ツーリスト (小 2・大 2)  
7 日 近畿日本ツーリスト (小 1・大 1)  
8 日 近畿日本ツーリスト (小 7・大 8)  
10 日 近畿日本ツーリスト (幼 3・小 5・大 7)  
11 日 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 1・大 5)  
15 日 近畿日本ツーリスト (幼 3・小 3・大 10)  
20 日 近畿日本ツーリスト (幼 2・小 8・大 18)  
21 日 近畿日本ツーリスト (小 1・大 6)  
27 日 文科省文化庁埋蔵文化財調査官他 (大 4)

平成 26(2014) 年 9 月  
3 日 胆振東部危険物安全協会視察研修 (大 26) < 展示見学・恐竜発掘現場見学 >

5 日 北海道胆振総合振興局森林室 (大 5)

平成 26(2014) 年 10 月  
8 日 苫小牧選挙管理委員会 (大 21)  
12 日 ひばり子供会 (札幌市) (小 17・大 9)  
18 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (小 1・大 6)  
25 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 20)

平成 26(2014) 年 11 月  
1 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 26)

7 日 北海道胆振総合振興局 (大 3) < 展示見学 >  
8 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 25)

9 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 10)

9 日 イオン苫小牧チアーズクラブ (小 19・大 6)  
15 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 24)

16 日 ししゃもツアー (交流人口推進協議会) (大 15)

20 日 胆振文化団体協議会 (大 22) < 展示見学 >

平成 27(2015) 年 1 月

17 日 平取町へリテージツアー太古の歴史を感じる (シービーツアーズ) (小1・大29)

平成 27(2015) 年 2 月

2 日 胆振東部市町議会懇談会く恐竜化石の説明等 (大15)

14 日 平取町へリテージツアー太古の歴史を感じる (シービーツアーズ) (小1・大32)

平成 27(2015) 年 3 月

13 日 JA 苫小牧広域外国人技能実習生研修く展示見学 (大9)



化石採集会 (2014. 5. 24)



普及講演会 (2014. 9. 23)



特別展「穂別恐竜発掘展」



穂別高校化石学習 (2014. 10. 22)



## 収蔵資料概要（登録資料）

---

【自然史系登録資料（HMG）】（地質・化石資料） 1,635 点  
【自然系登録資料（HMB）】（現生動植物資料） 167 点  
【人文系登録資料（HMC）】（民俗・歴史資料） 3,831 点 計 5,633 点（2015.3.31.現在）

【町指定文化財】 HMG-1「ホベツアラキリュウ化石骨」：むかわ町指定文化財登録番号第3号

### 【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ（新種）  
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ（新種）  
HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ（新属新種）  
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et. al., 1999 のホロタイプ（新種）  
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et. al., 2001 のホロタイプ（新属新種）  
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ（新種）  
（パラタイプ : HMG-134、HMG-1592）  
HMG-1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ（新種）  
HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ（新種）  
（パラタイプ : HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626）

## 資料収集保存活動

---

### I 野外調査活動

【現地調査】 13回（恐竜化石発掘関連を除く）  
うち、外部研究者等（研）と合同調査：5回  
4月：17、25  
5月：16  
6月：9（研）、10（研）、14  
7月：20（研）、21（研）  
11月：1、6、11、14  
3月：10（研）

### II 新規受入資料

#### II-1 寄贈

受入番号：寄贈資料／点数／寄贈者名（敬称略）

【自然史系資料】（34件・104点）

2014-001 : アンモナイト *Sharpeicerias* sp. / 1 / 服部義幸（千歳化石会）  
2014-002 : アンモナイト *Hypoturilites* sp. / 1 / 服部義幸（千歳化石会）  
2014-003 : 脊椎動物化石（サメ類歯化石） / 3 / 森木

和則（札幌市）  
2014-004 : 脊椎動物化石（サメ類歯化石） / 1 / 森木和則（札幌市）  
2014-007 : 化石含有ノジュール / 27 / 佐藤稔（むかわ町穂別）  
2014-008 : 化石含有ノジュール / 2 / 齊藤春樹（むかわ町穂別）  
2014-009 : 脊椎動物化石（ウミガメ？） / 1 / 大和治生（札幌市）  
2014-010 : アンモナイト *Patagiosites* sp. / 1 / 大和治生（札幌市）  
2014-011 : アンモナイト *Anagaudryceras* sp. / 1 / 大和治生（札幌市）  
2014-012 : アンモナイト *Solenoceras* sp. / 1 / 大和治生（札幌市）  
2014-013 : アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 1 / 岡島孝義（三笠市）  
2014-014 : アンモナイト *Pachydiscus gracilis* / 1 / 堀田良幸（むかわ町穂別）  
2014-015 : 化石含有ノジュール / 23 / 堀田良幸（むかわ町穂別）  
2014-016 : アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 1 / マシュー・ヒル・ディック（北海道大学 教授）  
2014-017 : 大型アンモナイト *Eupachydiscus?* sp. / 1 /

マシュー・ヒル・ディック (北海道大学 教授)

2014-018: 大型アンモナイト *Eupachydiscus?* sp. (or *Canadoceras?* sp.) / 1 / 小松俊文 (熊本大学 准教授)

2014-019: アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 1 / 小松俊文 (熊本大学 准教授)

2014-020: イノセラムス科二枚貝 *Sphenoceras* *schmidti* / 1 / 三宅優佳 (熊本大学大学院)

2014-021: アンモナイト *Eubostrychoceras japonicum* / 1 / 柳田透 (せたな町)

2014-022: ウミユリ / 1 / 柳田透 (せたな町)

2014-023: 化石含有岩石 (三角貝 *プレトロリゴニア* (二枚貝、印象) ウミユリ) / 1 / 柳田透 (せたな町)

2014-024: 化石含有岩石 (フズリナ) / 1 / 柳田透 (せたな町)

2014-025: 化石含有岩石 (フズリナ) / 1 / 柳田透 (せたな町)

2014-027: イノセラムス / 1 / 小山内年昭 (三笠市)

2014-028: イノセラムス *Inoceramus* sp. / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-029: アンモナイト *Polyptychoceras* sp. / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-030: アンモナイト *Neophylloceras ramosum* / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-031: イノセラムス *Inoceramus japonicus* / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-032: イノセラムス *Sphenoceras* sp. / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-033 アンモナイト / 1 / 根岸拓真・本山功 (山形大学)

2014-034: 化石含有ノジュール (アイノセラス含有) / 4 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)

2014-035: 化石含有ノジュール (アイノセラス含有) / 7 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)

2014-036: アンモナイト・直角貝・岩石ほか / 11 / 乃万秀也 (北広島市)

2014-039: アンモナイト *Anagaudryceras compressum* / 1 / 田中源吾 (熊本大学 特任准教授)

【自然系資料】(0件・0点)

【人文系資料】(0件・0点)

【その他】(1件・1点)

2014-026: 荷吊りベルト・ワイヤーロープ等 / 6 / 福田孝洋 (札幌市)

## II - 2 採集

【自然史系資料】(4件・1,069点)

2014-005: イノセラムス *Sphenoceras schmidti* / 1

2014-008: 化石含有ノジュール / 28 (採集協力: 穂別博物館協力会)

2014-037: 穂別産恐竜化石 (HMG-1219 追加資料) / 351

2014-038: 穂別産恐竜化石共産化石 (二枚貝・巻貝・アンモナイトなど) / 689

【自然系資料】(0件・0点)

【人文系資料】(0件・0点)

## II - 3 移管

なし

## II - 4 その他

なし

## III 新規登録資料

登録番号: 資料名 / 受入番号 / 寄贈 (採集) 者名 (敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】(化石・地質): 11点

HMG-1639: イノセラムス *Sphenoceras schmidti* / 2014-005 / 穂別博物館

HMG-1640: アンモナイト *Pachydiscus* sp. / 2013-001 / 松田敏昭

HMG-1641: アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 2013-013 / 大和治生

HMG-1642: コケムシ類 / 2009-051 / 穂別博物館

HMG-1643: イノセラムス *Sphenoceras schmidti* / 2014-020 / 三宅優佳

HMG-1644: イノセラムス *Inoceramus* sp. / 2014-028 / 根岸拓真・本山功

HMG-1645: アンモナイト *Polyptychoceras* sp. / 2014-029 / 根岸拓真・本山功

HMG-1646: アンモナイト *Neophylloceras ramosum* / 2014-030 / 根岸拓真・本山功

HMG-1647: イノセラムス *Inoceramus japonicus* / 2014-031 / 根岸拓真・本山功

HMG-1648: イノセラムス *Sphenoceras* sp. / 2014-032 / 根岸拓真・本山功

HMG-1649: アンモナイト / 2014-033 / 根岸拓真・本山功

【自然系資料 (HMB)】(現生生物) : 0 点

【人文系資料 (HMC)】(生活・歴史等) : 0 点

#### IV 収蔵資料の活用 (研究)

##### 【調査・観察】

[自然史系資料 (HMG)]

長頸竜化石 (HMG-1、HMG-1067) : 佐藤たまき (東京学芸大学)・林昭次 (大阪市立自然史博物館)、ウミガメ化石 (HMG-5 ほか) : 中島保寿 (ドイツ・ボン大学) <平成 26(2014) 年 9 月 14 日 -16 日>

##### 【貸出 (研究)】

[自然史系資料 (HMG)] (7 件・32 点)

HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055 (ウミガメ化石 5 点) : 平山廉 (早稲田大学) <平成 6(1994) 年 8 月 17 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石 2 点) : 平山廉 (早稲田大学) <平成 7(1995) 年 5 月 11 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト 2 点) : 加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成 21(2009) 年 7 月 9 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-0399 (アンモナイト 1 点) : 前田晴良 (京都大学) <平成 23(2011) 年 10 月 17 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-0357 (長頸竜化石 1 点) : 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成 23(2011) 年 11 月 25 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-1642 (コケムシ化石 1 点) : マシュー・ヒル・ディック (北海道大学) <平成 26(2014) 年 7 月 15 日 ~平成 27(2015) 年 7 月 14 日>

HMG-5 (7 点)、HMG-7 (2 点)、HMG-8 (1 点)、HMG-363(4 点)、HMG-368(1 点)、HMG-369(5 点) (ウミガメ化石計 20 点) : 中島保寿 (ドイツ・ボン大学) <平成 27(2015) 2 月 1 日 ~4 月 24 日>

[人文系資料 (HMC)] (3 件・22 点)

HMC-889、890、893、894、897、901 (刀剣類 6 点) : 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成 26(2014) 年 4 月 2 日 -4 月 24 日>

HMC-886、887、895、898、900、902、903 (本体・鏝) (刀剣類 8 点) : 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成 26(2014) 4 月 24 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日

>

HMC-883、884、885、891、896、899、3577、3578 (刀剣類 8 点) : 田代雄介 (むかわ町教育委員会) <平成 26(2014) 5 月 30 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

#### V 収蔵資料の活用 (研究以外)

##### 【貸出 (展示)】

[自然史系資料 (HMG)] (2 件・4 点)

HMG-842 (アンモナイト)・HMG-883 (イノセラムス) 計 2 点 : 穂別地球体験館 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 -平成 27(2015) 年 3 月 31 日>

HMG-1532 の石膏模型 (2 点)・写真 : 沼田町教育委員会 <平成 26(2014) 年 4 月 20 日 -7 月 25 日>

[自然系資料 (HMB)・人文系資料 (HMC)]

(HMB : 2 件・22 点、HMC : 1 件・4 点)

HMB-2、3、4、7、9、11、12、17、19、21、22、25、26、29、30、40、41、43、98、99 (剥製標本 20 点) : むかわ町立穂別小学校 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 -平成 26(2014) 年 3 月 31 日>

HMB-36、HMB-47 (剥製標本 2 点)、HMC-2797、HMC-2798、HMC-2799、HMC-2821 (ジオラマ 4 点) 計 6 点 : むかわ町立穂別小学校 <平成 8(1996) 年 6 月 14 日 -平成 26(2014) 年 3 月 31 日>

【写真提供等 (出版・報道等)】 (16 件・35 点)

恐竜化石尾椎骨写真・恐竜発掘現場写真 (第一次発掘)・恐竜化石産出部位図 (3 点) : 埼玉県立自然の博物館特別展 <平成 26(2014) 年 6 月 11 日 -10 月 26 日>

恐竜化石尾椎骨写真・ホベツアラキリュウ復元骨格写真 : 小学館刊「小学館の図鑑 NEO 新版恐竜」 <平成 26(2014) 年 6 月 18 日発行>

恐竜発掘現場写真 (第一次発掘) : 朝日新聞出版刊「朝日ビジュアルシリーズ『週刊 地球 46 億年の旅』 21 号」 <平成 26(2014) 年 6 月 26 日発行>

メソダナーモケリス・アノマロケリス写真 : 朝日新聞出版刊「朝日ビジュアルシリーズ『週刊 地球 46 億年の旅』 26 号」 <平成 26(2014) 年 7 月 31 日発行>

恐竜化石尾椎骨写真 : 日本古生物学会 和文誌「化石」 第 96 号 <平成 26(2014) 年 9 月発行>

ティロサウルス生体復元模型写真 : ベネッセコーポレーション刊「こどもちゃれんじすてっぷ ふしぎ はっけんえほん 9 月号」 <平成 26(2014) 年 9 月 1 日発行>

恐竜発掘現場写真 (第一次発掘) : 朝日新聞出版刊「朝日ビジュアルシリーズ『週刊 地球 46 億年の旅』 31

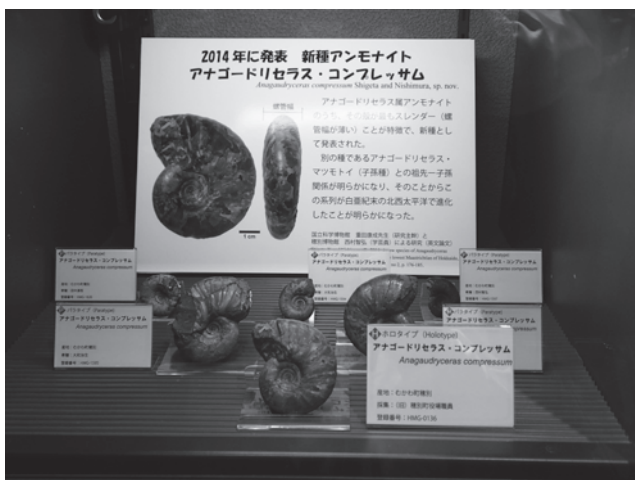
号」＜平成 26(2014) 年 9 月 21 日発行＞  
 恐竜化石上顎骨・発掘作業状況写真等（5 点）：株式会社ニュートンプレス「Newton 2015 年 1 月号」＜平成 27(2015) 年 1 月 7 日発行＞  
 博物館外観写真：新日本出版社刊「冒険恐竜館 2 恐竜たちの戦い」＜平成 27(2015) 年 2 月 26 日＞  
 恐竜化石尾椎骨写真・上顎骨写真・恐竜化石産状図等（8 点）：株式会社誠文堂新光社刊「子供の科学 第 78 巻 3 号」＜平成 27 年（2015）年 3 月発行＞  
 恐竜発掘現場写真（第一次発掘）：株式会社情報企画刊「イーハトーブ」＜平成 27(2015) 年 3 月 1 日＞  
 恐竜発掘現場写真（第一次発掘）：啓林館書店刊 理科授業補助教材＜平成 27(2015) 年 3 月 4 日発行＞  
 第二次発掘状況写真・化石クリーニング写真（4 点）：田中公教（北海道大学大学院）「恐竜トランクキット ガイド作成」＜平成 27(2015) 年 3 月 16 日＞  
 恐竜発掘現場写真（第一次発掘）：北海道地方下水道協会発行「地方協会だより」＜平成 27(2015) 年 5 月発行予定＞  
 恐竜発掘現場写真（第一次発掘）・恐竜化石尾椎骨写真：築地書館刊「日本の恐竜図鑑 2」＜平成 27(2015) 年 5 月 20 日発行予定＞  
 恐竜発掘現場写真（第一次発掘）：技術評論社刊「白亜紀の生物 上」＜平成 27(2015) 年 6 月 11 日発行予定＞

## VI その他収蔵資料管理

かせき学習館収蔵庫の人文資料（農業・産業等）の移設（旧仁和中学校へ）＜平成 26(2014) 年 8 月 6 日 -7 日＞



フィオリロ博士と小林快次准教授（2014. 5. 16）



新種アンモナイトの展示



恐竜化石報道会見（2014. 10. 10）  
 （小林快次准教授と竹中喜之むかわ町長）

### I 調査研究活動

#### 【穂別産恐竜化石発掘調査（第二次発掘調査）】

平成25年度の第一次発掘調査に引き続き、恐竜化石の第二次発掘調査を本年9月に実施した。

##### 1. 発掘期間

平成26(2014)年9月4日～9月30日(作業日21日間)

##### 2. 発掘体制・参加人数

(1) 発掘体制：当館と北海道大学総合博物館による合同調査

①むかわ町立穂別博物館：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員、藤江晃学芸補助員、高橋孝学芸補助員(計5名)。

②北海道大学総合博物館：小林快次准教授、大学院生6名、学部生2名、博物館ボランティア11名、その他教官・職員等6名(計26名)。

③その他大学：東京学芸大学2名、東京大学3名、筑波大学1名(計6名)。

④その他：1名(群馬県立自然史博物館)

⑤委託業者：重機操縦士2名(交代)

⑥映像記録担当：NHK職員1名

##### (2) 参加人数

一日平均13.5人。のべ283人。

##### 3. 採集資料等

(1) 採集標本数：1,040点

内訳

①恐竜化石：351点

②その他の化石：689点(アンモナイト、二枚貝、巻貝、その他)

(2) 採集した石膏ジャケット：10個

##### 4. 報道会見(詳細は「広報活動」を参照)

①第1回 平成26年(2014)年9月4日  
参加者 報道機関10社・13名、他5名

②第2回 平成26年(2014)年9月19日  
参加者 報道機関10社・11名、他2名

③第3回 平成26年(2014)年10月3日  
参加者 報道機関11社・14名、他若干名

④第4回 平成26(2014)年10月10日  
参加者 報道機関14社・18名、他若干名  
報道関係者計56名

##### 5. 現地視察等(報道公開以外)

###### (1) 現地視察

①2014年9月3日 胆振東部危険物安全協会視察研修(26名)

②2014年9月5日 北海道胆振総合振興局森林室(7

名)

③2014年9月9日 むかわ町立穂別博物館協議会(4名)

④2014年9月18日 北海道胆振総合振興局森林室(2名)

⑤2014年9月23日 むかわ町議会議員・むかわ町文化財審議会・穂別博物館協議会・恐竜化石を活かしたまちづくり研究会(26名)

⑥2014年9月25日 穂別博物館協力会(4名)

⑦2014年9月26日 むかわ町教育委員会委員・穂別博物館協力会・北海道胆振総合振興局職員(14名)

計7件・83名

###### (2) 研修等

①2014年9月20日 北海道大学 大学院生地質野外巡検(10名)

計1件・10名

###### (3) 学校教育等の見学

①2014年9月9日 むかわ町立宮戸小学校(生徒5名・引率2)

②2014年9月25日 むかわ町立穂別小学校4年生(生徒12名・引率2名)

計2件・21名

###### 6. 作業行為

(1) 立木調査：平成26(2014)年6月13日

(2) 法面安全対策工事：平成26(2014)年7月23日～11月28日

(3) 発掘調査：平成26(2014)年9月4日～9月30日

#### 【研究者等の来館】(穂別産恐竜化石発掘調査以外)

平成26(2014)年5月

16日 小林快次(北海道大学総合博物館 准教授)、アンソニー・フィオリロ Anthony R. Fiorillo(アメリカ・テキサス州ペロー自然史博物館 キュレーター) <恐竜化石の観察>

平成26(2014)年6月

9-11日 小松俊文(熊本大学 准教授)、マシュー・ヒル・ディック Matthew H. Dick(北海道大学 教授)、三宅優佳(熊本大学 博士課程)、坂本知霞(熊本大学 修士課程) <白亜紀のコケムシ化石・二枚貝化石の調査>

22日 楠橋直(愛媛大学 助教) <白亜紀哺乳類化石の調査>

平成26(2014)年8月

31日 根岸拓真、内村耕太郎、畔野翔太(山形大

学大学院生・学部生) <大型化石の研究方法の学習>

平成 26(2014) 年 9 月

14-16 日 佐藤たまき (東京学芸大学 准教授)、林 昭次 (大阪市立自然史博物館 研究員)、中島保寿 (ドイツ ボン大学シュタインマン研究所) <穂別博物館所蔵の長頸竜化石、ウミガメ化石の調査>

## II 刊行物

### 【むかわ町立穂別博物館研究報告】

ISSN 1882-5249

(1) 第 29 号、28 頁：平成 26(2014) 年 6 月 30 日発行  
<掲載内容>

① 櫻井和彦・西村智弘・小林快次：穂別産恐竜化石 調査記録 (1) 発見～第一次発掘.

(2) 第 30 号、32 頁：平成 27(2015) 年 3 月 31 日発行  
<掲載内容>

① 根岸拓真・西村智弘・本山功：北海道むかわ町穂別地域枯崎の沢から産出した *Inoceramus (Platyceramus) japonicus* (イノセラムス科、二枚貝綱) の地質学的意味.

② 櫻井和彦・西村智弘・小林快次：穂別産恐竜化石 調査記録 (2) 第二次発掘.

## III 論文発表

(1) 新種の白亜紀アンモナイト アナゴードリセラ ス・コンプレッサム発表 (西村学芸員共同研究・英文、日本古生物学会英文誌 *Paleontological Research*)  
Yasunari Shigeta and Tomohiro Nishimura, A new species of *Anagaudryceras* (Ammonoidea, Gaudryceratidae) from the lowest Maastrichtian of Hokkaido, Japan.  
*Paleontological Research*, vol. 18, no. 3, p.176-185. 2014

## IV 学会発表

(1) 北海道穂別地域に分布する上部白亜系函淵層の層序と軟体動物化石群：西村智弘 (口頭発表)、日本古生物学会 2014 年年会 (九州大学・九州大学総合博物館)、平成 26(2014) 年 6 月 28 日  
(2) 北海道穂別地域の函淵層最上部「サヌシュペ砂岩

層」からの白亜系無脊椎動物化石の産出：西村智弘 (ポスター発表)、日本古生物学会第 164 回例会 (豊橋市・豊橋市自然史博物館)、平成 27(2015) 年 1 月 31 日

## V 学会・大会・研修会等への参加

### 【日本古生物学会】

(1) 2014 年年会<平成 26(2014) 年 6 月 27-29 日、九州大学・九州大学総合博物館>：西村学芸員出席  
(2) 第 164 回例会<平成 27(2015) 年 1 月 30 日-2 月 1 日、豊橋市・豊橋市自然史博物館>：西村学芸員出席

### 【博物館協会等の大会・研修会等】

(1) 北海道博物館協会  
第 53 回北海道博物館大会<平成 26(2014) 年 7 月 10 日-11 日、旭川市大雪クリスタルホール>：石黒主査出席  
(2) 日胆地区博物館等連絡協議会 (欠席)  
(3) ミュージアムマネジメント学会 (欠席)

## VI 協力団体との連携

### 【穂別博物館協力会】

5 月 24 日：化石採集会① (2 名参加)  
5 月 31 日：化石採集会② (2 名参加)  
6 月 11 日：学習用地水洗 (2 名参加) <学習用地の水洗補助および周辺草刈り>  
夏季特別展 後援  
寄贈資料：1 件・28 点 (採集協力)

### 【千歳化石会】

寄贈資料：2 件・2 点

I 行事等

【博物館協議会】

平成 26(2014) 年 8 月 22 日 第一回：7 名出席  
 平成 27(2015) 年 3 月 24 日 第二回：6 名出席

【協力】

＜関係課・団体等との打ち合わせ会議＞

平成 26(2014) 年 5 月 29 日「2014 年穂別恐竜第二次発掘調査に向けた関係課・団体等との打ち合わせ会議」(第 2 回)

平成 26(2014) 年 10 月 23 日「2014-15 年度の恐竜発掘・普及活動に向けた関係課・団体等との打ち合わせ会議」(第 3 回)

平成 25 年度の第 1 回会議(3 月 26 日)に引き続き、第二次発掘および恐竜化石に関して当館で企画している普及事業について関係者間での情報の共有を図るため、2 回の会議が開催された。当館が起案し、むかわ町役場地域振興課企画管理グループ、同地域経済課産業グループ、むかわ町穂別地球体験館、むかわ町観光協会の担当者が出席した。

【交流人口拡大事業(協力)】

＜夏トクふりーぱす＞

ネクスコ東日本による、ETC 搭載の自動車限定サービス。事前申込により、指定範囲内の高速道路インターチェンジで乗り降りしても直通料金で利用でき、合わせて近隣市町村内の各施設・商店にて優待が受けられる。当館は入館料の減額を行った。

実施期間：平成 26(2014) 年 6 月 6 日～10 月 27 日の間の利用可能日のうち連続する最大 3 日間。

＜3 施設パスポート券＞

むかわ町 4 施設共同利用協議会による、町内 3 施設(穂別地球体験館、穂別博物館、樹海温泉はくあ)の共通パスポート券の発行。むかわ町内への交流人口の誘導と各施設の宣伝、利用者の新たな掘り起こしを図ることが目的。当館は入館料の減額を行った。

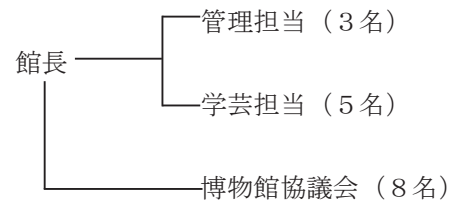
実施期間：平成 26(2014) 年 5 月 13 日～7 月 18 日、8 月 18 日～11 月 30 日。

＜ロックンロード 274＞

樹海ロード広域連携協議会(事務局:夕張市)による、国道 274 号沿いの 4 市町村(夕張市、むかわ町、占冠村、日高町)内の各施設・商店にて優待を受けられるリストバンドの製作・販売。交流人口の拡大が目的。当館は入館料の減額で対応した。

実施期間：平成 26(2014) 年 4 月 1 日～平成 27(2015) 年 3 月 31 日。

II 組 織



【博物館協議会委員】＜平成 26(2014) 年度＞

任期：平成 26(2014) 年 8 月 1 日 - 平成 28(2016) 年 7 月 31 日

- 会 長 梅津讓一
- 副会長 山田正
- 委 員 鎌田政博
- 委 員 只野繁
- 委 員 田中波留美
- 委 員 相澤孝行
- 委 員 佐々木敏郎
- 委 員 宮田千春

【博物館職員】＜平成 26(2014) 年度＞

- ＜館 長＞ 阿部 勉
- ＜管理担当＞
- 主 査 石黒和徳
- 臨時職員 早瀬千佳
- 臨時職員 多村こゆる
- ＜学芸担当＞
- 学芸員 櫻井和彦
- 学芸員(嘱託職員) 西村智弘
- 学芸補助員(臨時職員) 下山正美
- 学芸補助員(臨時職員) 藤江晃
- 学芸補助員(臨時職員) 高橋孝(6 月 1 日～)

III 刊 行 物

【むかわ町立穂別博物館館報】ISSN 1882-5230

- 第 30 号：平成 24(2012) 年度版  
17 頁、平成 26(2014) 年 3 月発行
- 第 31 号：平成 25(2013) 年度版  
21 頁、平成 26(2014) 年 11 月発行

#### Ⅳ 利用状況

##### 【常設展示観覧者】

平成 26(2014) 年 4 月～平成 27(2015) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	424	128	552	109	661	25
5	1,669	657	2,326	302	2,628	25
6	443	110	553	57	610	26
7	980	443	1,423	206	1,629	31
8	2,003	949	2,952	418	3,370	31
9	554	152	706	126	832	23
10	800	248	1,048	206	1,254	26
11	641	207	848	137	985	25
12	25	3	28	11	39	24
1	78	17	95	17	112	22
2	107	9	116	28	144	23
3	238	66	304	73	377	25
計	7,962	2,989	10,951	1,690	12,641	306

(単位：人・日)

##### 【博物館特定入館日】

##### [博物館開館記念日関連事業]

7 月 20 日の開館記念日に関連して、平成 26(2014) 年 7 月 15 日(火)～7 月 21 日(月・祝)の 7 日間を町民無料入館の日とした。

##### [国際博物館の日]

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977 年)にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5 月 18 日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

##### [博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

実施日	行事名	一般	学生	計
H26. 5. 18	国際博物館の日	12	2	14
7. 15-21	博物館開館記念日	9	3	12
9. 15	敬老の日	0	0	0
11. 3	文化の日	1	2	3
11. 23	勤労感謝の日	5	1	6
H27. 1. 14	成人の日	1	0	1
計	12 日	28	8	36

(単位：人)

#### 【学校週五日制関連事業】

＜町内児童生徒に対する入館料減免＞

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成 26 年度の利用者数：57 人(個人見学のみ)

#### Ⅴ 歳入

区 分		有料入館者数	観覧料
一般	個人	5,235	1,571
	団体	675	135
	割引	1,479	296
学生	個人	1,810	181
	団体	378	19
	割引	548	27
小 計		10,125	2,229
諸収入	物品販売代		6
	体験学習料		15
小 計			21
合 計			2,250

(単位：人・千円)

#### Ⅵ 歳出

費 目	金 額
報 酬	2,761
共 済 費	1,031
賃 金	5,237
報 償 費	130
旅 費	1,135
需 用 費	7,122
役 務 費	299
委 託 料	3,554
使用料及び賃借料	958
負担金補助及び交付金	40
工 事 費	34,906
備 品 購 入 費	3,907
補償補填及び賠償金	41
博 物 館 費 合 計	61,121

(単位：千円)



## Ⅶ 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- \* 7、8月は無休。

### 【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

### 【減免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

## むかわ町穂別博物館館報

第32号

平成26（2014）年度版

発行 2015年12月

発行者 むかわ町穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141